

社会福祉法人さぼうと21

東日本大震災関連支援事業

～2011年度活動報告～

2011年3月～2012年3月

甚大な被害をもたらした東日本大震災に際し、長年海外での緊急支援に携わってきた姉妹団体の AAR Japan（認定 NPO 法人難民を助ける会、以下 AAR）と協力して、当会も罹災者の支援活動や災害に関する情報提供等を開始いたしました。ご賛同下さった多くの個人・企業の方々からのお力添えのもと、支援の輪が広がり、宮城・岩手の二県を中心に活動を継続しております。以下、その概要をご報告申し上げます。

放射能についての多言語通訳付き緊急セミナーの実施

日本語の理解が不十分な在住外国人を対象に、軍事問題専門家の岡本智博氏を講師に迎え、8言語の通訳を手配して「地震」「原発」「放射能」に関する緊急セミナーを2回に分けて実施。ビルマ語、ベトナム語、中国語、アラビア語、ペルシャ語、スペイン語、英語、フランス語の多言語通訳付きの情報提供が有益だったとの評価を頂きました。（ビルマ語通訳は、ジャーナリストで当会役員の田辺寿夫氏。）

「放射能って何？ 地震と原発 etc. きちんと教えて～」

◇第1回（3月26日）：ネクストワークス（東京都品川区） 参加者約50名

◇第2回（4月2日）：TKPカンファレンスセンター（東京都渋谷区） 参加者約80名



原発の詳しい仕組み等を知り、不安が軽減された。
(2011年4月2日、TKPカンファレンスセンターにて)

災害対策本部への乗用車の寄贈（宮城県石巻市東浜）

震災による被害の大きい牝鹿半島地域における救援活動のために、4月下旬に乗用車1台を購入し、宮城県石巻市東浜災害対策本部に寄贈しました。



ボランティアで車を現地に届けて
下さった粟田さん(左)



豊島本部長(中央)と、お手伝い頂いたAARスタッフの
小林さん(左) (2011年5月14日)

サニーちゃんトートバックの配布

5月に入り、AARが緊急支援物資を入れるためのバックの作製を呼びかけたところ、全国からボランティアの方々による手作りのバックが続々と届けられました。当会は、物資と励ましのメッセージを入れたバック（AARマスコットのサニーちゃんうさぎ付き）を被災地の学校や施設など各地に配布するために協力しました。



写真左：虎屋提供の羊羹や、ユースキン製薬提供のハンドクリームなどが入ったバックは、各地で大好評
写真右：陸前高田市の避難所を訪問した当会の柳瀬評議員/AAR会長(バックを手にした女性)

「^{ふるさと}チャリティコンサート〈故郷〉～被災地出身演奏家の祈りに応えて～」の共催

AARとの共催で、5月20日に東京オペラシティのコンサートホールにて開催されたチャリティコンサートの事務局を担当しました（主催はチャリティコンサート〈故郷〉実行委員会、サンキョー株式会社協賛）。

コンサートの呼びかけ人は、宮城県石巻市出身で東京フィルハーモニー交響楽団トランペット奏者の安藤友樹氏です。東京藝術大学の井橋光平理事、杉木峯夫教授、松下功教授、トランペット奏者の小林好夫氏らと当会役員が実行委員を務め、同大学の在校生や卒業生

が出演。陸前高田市で被災した高校生の佐々木瑠璃さんにも特別に出演して頂きました。満席となったコンサートの純益と、当会に寄せられた指定寄付を元に、被災地の学校 5 校に対して、49 種類 110 点の楽器及び付属品等を 6 月中に提供しました。

<楽器寄贈先>

- 岩手県立高田高校
- 岩手県釜石市立釜石東中学校
- 岩手県陸前高田市立高田小学校
- 宮城県石巻市立渡波中学校
- 宮城県石巻市立湊中学校

司会の加藤タキ AAR 副理事長(左)と
陸前高田市出身の佐々木瑠璃さん

呼びかけ人安藤友樹さん
(右)とのトーク



2011 年 5 月 20 日、東京オペラシティ コンサートホールにて

六花亭のチャリティチョコレート 1 万個を配布

北海道の六花亭製菓株式会社の特別協力により制作されたチャリティチョコレート 1 万個を購入し、AAR の協力を得て、5 月以降、被災地において順次配布しました。

災害対策動画の公開（在住外国人向け）

定住する外国出身者を対象に、「地震の時にどう行動するか」「地震などの災害にどう備えるか」をやさしい日本語で紹介した動画を、6月中旬以降、ユーチューブで一般公開しています。動画の制作・編集は、さぼうと21学習支援室のボランティア講師が担当しました。

【さぼうと21災害対策動画 Youtube URL リンク】

- 「地震！その時あなたはどのようにしますか？ Ver3」

<http://www.youtube.com/watch?v=u7FLaYtYxLs>

- 「今は地震じゃありません！どうしましょう？ Ver4」

<http://www.youtube.com/watch?v=zgzwDHaCxdc>

楽器寄贈と被災地域吹奏楽コンクールに向けての演奏指導

被災地への教育支援の一環として、セガサミーグループから指定寄付1000万円が寄せられました。当会では早速、楽器メーカーや被災地にある取次店の協力を得て合計75種類117点の楽器類を購入し、地震や津波で被害を受けた5校の吹奏楽部に7月中に提供しました。また、「チャリティコンサート〈故郷〉」に出演した演奏家による、楽器贈呈式での模範演奏及び、全日本吹奏楽コンクール岩手県大会予選に出場した生徒に対する演奏指導も7月に実施。著名な演奏家と被災地の生徒との音楽を通じた交流の機会となりました。

<楽器寄贈先>

- 岩手県野田村立野田中学校
- 岩手県釜石市立釜石東中学校

- 宮城県石巻好文館高校
- 宮城県石巻市立渡波中学校
- 宮城県石巻地区吹奏楽連盟



東京藝術大学の松下功教授(写真左の、右から2人目)から直接手ほどきを受け、笑顔で浮かべる釜石東中学校の生徒たちは、大津波の記憶を胸の奥にしまって練習に励んでいる。

(写真左:中央は当会の吹浦理事長)

被災者を招待した「心のコンサート〈希望〉」主催（宮城県仙台市）

宮城県仙台市や石巻市などに居住/避難されている被災者の方々約 800 人をご招待し、8 月 5 日、仙台市青年文化センターにてコンサートを開催しました（共催：AAR）。

フランスから世界的なトランペット奏者エリック・オービエ氏を招き、仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演となりました（指揮：松元宏康氏）。当会が 7 月に楽器を贈った宮城県立の石巻好文館高校吹奏楽部の生徒も出演（指揮：秋葉広人先生）。さらに、全日本吹奏楽コンクール宮城県大会に出場した大崎市立古川東中学校吹奏楽部もコンサートに招待しました。

尚、開催に当たっては、ジャーナリストの松館忠樹氏（元 NHK 仙台支局長）にご協力頂きました。



2011 年 8 月 5 日、震災後ようやく修復された仙台市青年文化センターにて、オービエ氏(左)と仙台フィルの演奏が響き渡った。

石巻好文館高校の吹奏楽部も熱演(右)



荷物運搬用リヤカーの寄贈（宮城県石巻市、東松島市他）

石巻市立の渡波小学校・渡波中学校と稲井小学校・稲井中学校、東松島市立大曲小学校などに、荷物運搬に有効なリヤカー合計 12 台（ソリット車輻付、箱付）を 10 月までに寄贈しました。



東松島市立大曲小学校にて(2011年8月4日)

野球部グラウンドコートの寄贈（岩手県釜石市）

11月中旬、これから厳しい冬を迎える岩手県釜石市立釜石東中学校（市立釜石中学校に間借り中）の野球部に、野外練習用のグラウンドコート（メーカー：ミズノ）を寄贈しました。色は、釜石東中学校スクールカラーのマリンブルーです。



小学校校舎のカーテンの調達と取り付け（宮城県石巻市湊地区・渡波地区）

宮城県の沿岸地域の学校では、津波により多くのカーテンが流失/破損したり、避難者の寝具用に使われたりしたため、校舎のカーテンが大量に不足していました。カーテンは、授業中の遮光だけでなく、冬期の防寒用としても必要性が高いため、石巻市立住吉小学校と鹿妻小学校に対して、購入・取り付け費用の一部を支援しました。（2011年11月完了）

地元青年団主催の伝統行事「獅子舞」への支援（宮城県石巻市）

被災後初のお正月を迎えるに当たり、自らも被災した石巻市青年団協議会の団員たちが、地域に残る伝統行事「獅子舞」を演じながら仮設住宅4カ所を回って、子どもたちと餅つきや凧揚げなどをし、お神酒をふるまい、住民たちと互いに励まし合いました。当会はこの行事の実施を支援しました。

寒さの中、子どもたちも早朝から丸一日、笛や太鼓を手に町内を練り歩いた。
（2011年12月末）



中学校理科教材97点の寄贈（岩手県釜石市）

津波で校舎ごと全ての教材器具を失った釜石市立釜石東中学校に対し、理科教材97点（屈折説明装置、顕微鏡、電流計、電圧計、力学台車、音叉、放射線測定器、イオン移動実験器等、メーカー：内田洋行）を提供。新年度の授業に間に合うよう、3月に完成したばかりの応急新校舎に届けました。新校舎は内陸部にある紀州造林旧工場跡地に建設され、同校はそれまで間借りしていた釜石中学校から、2012年3月25日に移転しました。



早速新しい顕微鏡を使って、水草のオオカナダモを観察



新校舎での理科の授業風景

アップライトピアノの寄贈（岩手県釜石市）

2011年5月に「チャリティコンサート〈故郷〉」を開催したことがきっかけとなり、東京オペラシティより被災地支援のために譲渡されたアップライトピアノを、釜石市立釜石東中学校に寄贈しました。このピアノは、世界的なピアニスト達が本番前に演奏していたものです。（輸送は理科教材同様、応急新校舎への移転に合わせて実施。）

3月15日に卒業式が執り行われた同校では、4月から新校舎にて新たなスタートを迎えることになりました。

以上

追記：

2011年7月に吹奏楽器を寄贈した宮城県石巻市立湊中学校の生徒11名が、2012年4月、東京への修学旅行中に当会事務所を訪れ、多くの支援者の方々に支えられてきたことに対する感謝の思いを述べるとともに、後輩のために楽器を大切に使用したいと話してくれました。

皆様の温かいご協力に、改めて心より御礼申し上げます。